



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.66

令和2年3月2日

文責：校長 伊藤 孝行

明日から臨時休業に入ります。

明日3月3日(火)～3月23日(月)までの期間、新型コロナウイルス感染予防のため郡山市立公立学校が臨時休業に入ります。

3月24日(火)からは、学年末休業(春休み)となります。

臨時休業の目的は、新型コロナウイルスの感染予防や感染拡大予防にあります。

子どもたちには、臨時休業の目的について、それぞれの学級で指導を行ってきましたが、ご家庭でも以下の点について、ご指導くださるようお願いいたします。

- ① 不要不急の外出はしない。
- ② 可能な限り人込みを避ける。
- ③ うがい、手洗い、マスクの着用など、一人一人ができることを精一杯行う。

この様にして終わるのは残念ですが・・・

本来なら4日(木)は授業参観で、子どもたちの一年間の成長の様子をご覧いただくところでした。しかし、それを叶えることができないのは本当に残念なことです。

私も先生方も、子どもたちと今年の成長をともに喜んだり、新年度を迎える心構えを話したりと、やりたいことがまだまだありますが、今となってはできないことばかりです。

私たちは、子どもたちに「明日があるかは分からない、今日一日を大切にしよう」と言ってきました。今、それが現実になりました。

今回のことは残念なことですが、私たちおとなも、子どもも「明日があるかは分からない、今日一日を大切にしよう」ところから思い、行動できるようになったら残念なことばかりではありません。

熱いハートと冷静な頭で考える！

【正常性バイアス】

社会心理学、災害心理学などで使用されている心理学用語で、自分にとって都合の悪い

情報を無視、過小評価する人の特性のこと。

自然災害や事故などが発生し、何らかの被害が予想される状況下でも、それを正常な日常生活の延長上の出来事として捉え、都合の悪い情報を無視し、「今回は大丈夫」などと過小評価して、被害を拡大してしまう考え方。

私が、校長になったのは平成22年4月でした。その一年目がもうすぐ終わろうとしていた、平成23年3月11日(金)14時46分に東日本大震災が発生し、3月12日(土)15時36分に東京電力福島第一原子力発電所が爆発事故を起こしました。その結果、放射性物質が拡散し、3月15日(月)から臨時休業に入り、そのまま春休みを迎えました。

福島県外に避難する家庭も数多くみられ、卒業式は3月31日に参加できる子どもと保護者、教職員で行うというものでした。

その後、目に見えない放射線との長い戦いが始まり、私は、常に「子どもの生命、健康、安全」を最優先に教育活動を進めました。

しかし、放射線より大変だったのが、「正常性バイアス」思考の強い方々との話し合いで、「今年の6年生だけできないのはかわいそう、親も楽しみにしていたの。」と、原発事故直後に、各種行事を例年通り行おうとする方々に、現状をご理解いただくことでした。

最近では、気候が変わり、熱中症や新しい感染症、今回の新型コロナウイルスと、日々、子どもたちが置かれている状況が変化し、例年通りが通用しないことが起こっています。

本当にかわいそうなのは、予定されていた行事ができないことではなく、「正常性バイアス」思考により、子どもが危険な目に合い、将来へのリスクを負うことです。

行事ができずに悲しむ子どもの気持ちは痛いほど分かりますし、可愛そうに思うことは同じです。しかし、おとなは感情に流されることなく、熱いハートと冷静な頭で考え、「子どもの生命、健康、安全」を今後も守り、マイナスをプラスに転じていきましょう。